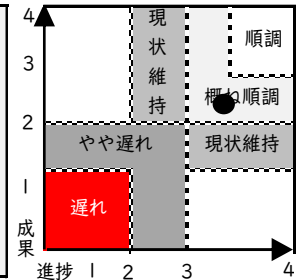


# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果
基本施策	1	子ども・子育て支援の充実	
		結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。	
担当課	福祉課、国保医療助成課、健康づくり推進課、子ども課、図書館		



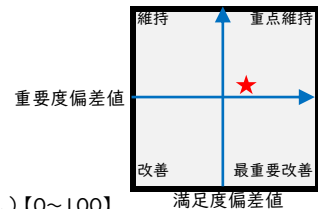
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	17.9			12位/32施策
重要度	0.493			10位/32施策

改善度
2.97
(13位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0~100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1~1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88~20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
出生数	428人 (H29)	↗	出生届が提出された子どもの人数	433人	376人	372人		C
子育てに関する相談件数	489件 (H28)	↗	えみふる構成部門が連携して対応した子育てに関する相談件数	506件	437件	312件		B
子育て支援センターの利用親子組数	1,458組 (H28)	↗	子育て支援センター事業に参加した親子の数(延人数)	1,241組	1,156組	530組		D
乳幼児健康診査受診率	96.3% (H28)	↗	乳幼児健康診査対象児のうち、受診者の占める割合	98.4%	98.0%	97.6%		B
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		2.3	B	

※★印は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとなっています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響もあり、出生数が減っている。</li> <li>・子育て相談の多くは、あそびの広場やひなたっ子、子育て支援センターの主催行事等への参加をきっかけとして、つながることが多いことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、えみふるを構成する各部門の施設休所、利用制限などの措置をとらざるを得なかったことが、相談件数減少の大きな要因となっている。一方で電話による相談件数が約2割増加するなどコロナ禍を象徴する結果があらわれた。</li> <li>・自立支援員相談対応件数は、前年より微増(①465件⇒②473件)しており、ひとり親の相談対応に関する需要は依然多いものの、相談時のきめ細かな対応により、相談者が必要とする情報や適切な相談窓口への案内ができてきていると思われる。</li> <li>・高等職業訓練促進給付金受給者数は、年々増加しており、(③4人⇒6人⇒④9人)今後も増加が見込まれる。</li> <li>・ひとり親家庭児童修学援助金受給者数は、制度周知の取り組みの改善により、大幅に増加(①13人⇒②25人、応募者35人)の結果となった。</li> <li>・乳幼児健診については、広報のみならず各健診の案内を個別通知をすることで受診勧奨につながり、親自身の受診することの意識の高さもあると考える。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各健診において支援が必要な親や児のスクリーニングを実施し、また、他機関とも協力しながら支援をすることができ、引き続き受診が維持できるように努めていく。</li> <li>・子育て支援センター事業やひなたっ子の運営にあっては、子育て中の家庭が、悩みや不安の解消と気軽に相談できる環境づくりの推進の観点から、感染対策を徹底し、可能な範囲で開所した。相談件数や子育て支援センター利用親子組数の減は、少子化と家庭内保育の減少といった要因もあるが、感染をおそれ利用を敬遠する保護者の行動変容もあり、コロナの影響を大きく受けた1年となった。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業については、制度が周知されてきたことにより、会員が増加したほか、コロナ禍にあっても援助活動件数は、昨年度とほぼ横ばいとなっており、子育てと仕事の両立を支援する事業として、大きな役割を果たすことができた。</li> <li>・令和2年度から「ひとり親家庭児童修学援助金」について制度周知の方法を対象への直接案内送付に切り替えたことにより、応募者が急増し、定員を超える申し込みとなった。</li> </ul>
-------	--

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染防止対策において、集団指導の内容が縮小したことから、コロナ禍においても充実した集団指導ができるよう、媒体の工夫等を検討していきたい。</li> <li>・保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的に実施する病児病後児保育事業については、利用率が低下傾向にあるため、費用対効果と子育て環境の充実の両面から検討を進めていく必要がある。また、3歳以下の子どもをもつ家庭における多様なニーズにマッチした事業やサービスを今後も継続して提供していく必要がある。</li> <li>・えみふる各部門いずれにおいてもコロナの影響により、感染リスクの低減を図りながらの運営となるが、核施設であるあそびの広場の利用が、各部門の相談支援のきっかけとなることから、市内利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに取り組んでいく。また、あそびの広場に新規遊具を導入し、市内利用者のリピート率の向上を図る。</li> <li>・制度の周知については、必要な情報が必要な人に確実に届くような周知方法を取るべきであり、また、周知方法を変えたことにより応募者や問い合わせなどが増えるという実績から、今後も効果的な周知方法を実践していく。</li> </ul>
-----------	--

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
子どもの医療助成事業 【国保医療助成課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数 就学前児童 H30:44,140件 → R1:45,607件 → R2:34,360件 小学生 H30:32,917件 → R1:36,422件 → R2:30,292件 中学生 H30:21件 → R1:42件 → R2: 46件</li> </ul>	A	B	B
ひとり親家庭支援事業 【福祉課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・父子自立支援員相談対応件数 延べ473件</li> <li>・母子家庭等自立支援給付金事業 高等職業訓練促進給付金 9人</li> <li>・ひとり親家庭児童修学援助金 25人</li> </ul>	B	A	A
不妊・不育症治療費助成事業 【健康づくり推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定不妊治療費助成 46件（助成額6,292,506円）</li> <li>・一般不妊治療費助成 22件（助成額 649,924円）</li> <li>・不育症治療費助成 0件</li> </ul>	B	B	B
母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳交付数315人 ・母親学級受講数72人 ・ペア（両親）学級受講数130人</li> <li>・乳幼児健康診査（股関節脱臼検査含む）受診数2,103人 ・フッ素塗布受診数342人</li> <li>・新生児聴覚検査受診数334人 ・産後ケア利用数 7人 ・訪問指導数512人 ・健康教育人数228人 ・健康相談人数258人</li> </ul>	B	B	B
子ども・子育て支援事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前産後ヘルパー事業 登録60名、利用295回</li> <li>・子育て短期支援事業 利用延日数92日</li> <li>・子育て支援夜間養護等事業 利用延日数1日</li> <li>・こどもサポートセンター「いま、ここ」が運営するファミリーサポートはおはおに業務委託し実施。援助活動件数409件</li> <li>・保育サービス講習会を9月と2月に開催</li> <li>提供会員計11名登録 提供会員数54名 依頼会員計44名登録 提供会員数187名</li> </ul>	A	A	B
子育て総合支援センター事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター事業 おしゃべりルーム822名、小児科医による子育て相談167名、リフレッシュ支援事業14名、ベビーマッサージ講習会62名、パパといっしょ19組40名</li> <li>・子ども発達支援センター事業 発達相談支援件数 688件</li> <li>・つどいの広場事業 ひなたっ子180回 9,220名 ・えみふるの相談支援連携件数 312件</li> </ul>	A	A	A
あそびの広場運営事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 市内 7,245人 市外 10,809人 団体利用者1,383人</li> <li>計19,437人</li> </ul>	B	A	A
児童厚生施設運営事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数 134,298名</li> <li>内訳（幼児 604名 小学生127,784名 中学生552名 高校生347名 大人 5,011）</li> <li>・児童館等地域見守り事業（おはようキッズ事業）登録者426名</li> </ul>	A	A	B
青少年対策事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年センター運営委員会 開催1回</li> <li>・街頭補導活動 街頭補導71回 延人員151人</li> <li>・環境浄化モニター活動 モニター活動5回</li> <li>・青少年センターだよりの発行 2回</li> <li>・広報誌「ふれあい」の発行 2回</li> </ul>	B	C	A
青少年育成事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の主張岩見沢大会 中学校9校より16名参加 ・子ども発明工夫展 中止</li> <li>・青少年の体験活動推進事業 中止</li> <li>・空知子ども会育成会連合会主催初級リーダー研修 中止</li> <li>・室蘭線で行く「炭鉄港ツアー」 中止 わくわく子どもキャンプ 中止</li> <li>・地域子ども会野球大会 中止</li> <li>・子ども書初大会 72参加 子どもかるた大会 中止</li> </ul>	A	B	A

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
留守家庭児童対策事業 【子ども課】	・児童館のほか、公共施設や小学校、地域施設等の計21カ所において、放課後児童クラブを設置し運営した。 ・小学校1年生までから6年生までの登録児童数(R3.3月末現在) 1,192人	A	A	B
栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。 定員:1号認定15人、2号3号認定45人。 入園状況:1号認定8人、2号3号認定38人。	A	A	A
保育所入所運営事業 【子ども課】	保育所:公立1(定員90人)法人立11(定員780人)、認定こども園:公立1(定員60人)法人立2(定員177人)、小規模保育所:私立4(定員76人) 計19施設(定員1,183人) 第3子以降保育料無料化に加え、第2子保育料無料化(同時入所の場合)に取り組むとともに、保育所を利用するすべての家庭の負担軽減のため、保育料の減額・細分化を実施。	A	A	A
病児・病後児保育運営事業 【子ども課】	病気の症状安定後から回復期まで専門施設で保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援。 登録児童数:112人 利用児童延べ人数:病児保育49人、病後児保育1人	B	B	B
保育・教育人材確保事業 【子ども課】	保育士又は幼稚園教諭の人材を確保するために必要な経費の一部について補助を実施。 交付実績:保育所6園、計6名分 幼稚園2園、計4名分	B	A	A
幼稚園入所運営事業 【子ども課】	新制度移行幼稚園:法人立5(定員795人)、入所人員778人 令和元年10月から、子ども・子育て支援法の改正により満3歳から5歳までのすべての子どもの保育料が無償となった。	A	A	A
ブックスタート事業 【図書館】	・令和3年3月までのブックスタートパックの贈呈数 399組(配布率100%) ・3歳未満乳幼児への読み聞かせ会「ベビカフェ」開催 年3回(7月中止) ・絵本の読み聞かせ 本館 月3回、来夢21 週4回、北村学習交流館 月2回	A	A	A
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価	3.6	A

## 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 子どもの医療助成事業 【国保医療助成課】	子どもの健康増進、子育て世帯の経済的負担の軽減のため、子どもの医療費の助成を北海道の基準に加えて、市独自施策として拡充して実施。	195,429 (2.0人)	200,423 (2.0人)	156,119 (2.0人)
		209,829	214,823	170,519
未熟児養育医療給付事業 【国保医療助成課】	未熟児の健康管理と健全な育成を図るため、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療を給付	5,670 (0.0人)	4,065 (0.0人)	7,624 (0.0人)
		5,670	4,065	7,624
重点 ひとり親家庭支援事業 【福祉課】	ひとり親からの各種相談に対して、母子・父子自立支援員による適切な助言指導を行う。また、就業支援、経済的支援策として母子家庭等自立支援給付金事業及びひとり親家庭児童修学援助金の給付を実施し、ひとり親家庭の経済的・精神的自立の促進を図る。	8,178 (0.0人)	10,949 (0.0人)	13,094 (0.0人)
		8,178	10,949	13,094
児童手当等給付事業 【福祉課】	家庭生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成のため、ひとり親家庭の生活の安定と自立、児童福祉の増進のため、児童手当及び児童扶養手当を支給するとともに、経済的困難を抱える妊産婦について、助産施設入所に係る費用を負担し援護する。	1,335,075 (3.0人)	1,412,156 (3.0人)	1,258,704 (3.0人)
		1,356,675	1,433,756	1,280,304

事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			H30実績	R1実績	R2実績
重点	子ども・子育て支援事業 【子ども課】	「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、ショートステイ、トワイライトステイや産前産後ヘルパーなどの事業を実施することにより、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりを行う。また、令和2年度から令和6年度を計画期間とする「第2期子ども・子育てプラン」を策定する。	11,988 (2.0人)	19,313 (2.0人)	15,218 (2.0人)
			26,388	33,713	29,218
重点	子育て総合支援センター事業 【子ども課】	子育て支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター事業を推進し、関係機関と連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。	25,450 (2.0人)	24,058 (2.0人)	19,362 (4.0人)
			39,850	38,458	47,362
重点	あそびの広場運営事業 【子ども課】	子どもの成長に応じた安全な遊び場を提供し、子どもの心身の発達を促すとともに、市民に安心して子育てをすることができる環境及び子どもを中心とした交流の場の提供。	32,019 (1.0人)	32,711 (0.0人)	31,919 (0.0人)
			39,219	32,711	31,919
重点	不妊・不育症治療費助成事業 【健康づくり推進課】	赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を助成し、安心して妊娠、出産できるよう支援する。	6,031 (0.0人)	8,147 (0.0人)	6,943 (0.0人)
			6,031	8,147	6,943
	ふれあい子どもセンター運営事業 【子ども課】	市内に認可保育所等は18か所あり、唯一の公立保育所として、保育を必要とする児童に特別保育事業を取り入れながら保育を行う。	32,189 (6.0人)	30,077 (5.0人)	41,399 (4.0人)
			75,389	66,077	69,399
重点	栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。 定員:1号認定15人、2号3号認定45人。	66,700 (0.0人)	67,095 (0.0人)	64,647 (0.0人)
			66,700	67,095	64,647
重点	保育所入所運営事業 【子ども課】	市内13か所の法人立保育園、1か所の法人立認定こども園、3か所の地域型保育事業に係る保育所入所運営費の負担。法人立保育園の整備振興を図るため、借入れた整備資金の当該年度中に支払いを要する元金及び利子に対し予算の範囲内で補助金を交付する。障害児保育、障害児保育特別対策、延長保育、休日保育、一時預かり保育の実施。	1,401,088 (3.0人)	1,665,841 (3.0人)	1,550,305 (3.0人)
			1,422,688	1,687,441	1,571,905
	特別保育所運営事業 【子ども課】	へき地の保育に欠ける児童に対し、必要な保護を行うため、へき地保育所を運営する。岩見沢市へき地保育所条例に基づく運営 ~ 北村中央保育所、北村幌達布保育所、美流渡保育所	50,417 (3.0人)	43,896 (3.0人)	48,132 (3.0人)
			72,017	65,496	69,732
重点	病児・病後児保育運営事業 【子ども課】	【病児保育】児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所:岩見沢市立病児保育施設》【病後児保育】児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所:社会福祉法人岩見沢東部保育会岩見沢ひがし認定こども園病後児ルーム》	16,868 (0.0人)	16,959 (0.0人)	17,038 (0.0人)
			16,868	16,959	17,038
	子育て施設等利用給付事業 【子ども課】	幼児教育・保育の無償化に伴い認可外保育施設等を利用する保護者に対して、施設等利用費の負担をする。	0 (0.0人)	14,139 (0.0人)	21,977 (0.0人)
			0	14,139	21,977
重点	保育・教育人材確保事業 【子ども課】	岩見沢市への就職をすすめるため、保育士、幼稚園教諭に対して就職準備金を支給し、人材の確保と幼児教育・保育の質の維持向上を図る。			2,000 (0.0人)
					2,000
重点	児童厚生施設運営事業 【子ども課】	地域の子育て支援拠点として、児童に健全な遊びを提供し、心とからだの健康を育むことができるよう、市内13児童館等の運営を行う。保護者の就労を支援するため、早朝の見守りが必要な留守家庭児童を受け入れる「おはようキッズ事業」を実施する。	71,358 (1.0人)	66,743 (1.0人)	65,532 (1.0人)
			78,558	73,943	72,532
重点	母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	妊婦から乳幼児期までの母子の健康管理と異常の早期発見並びに健全育成のため、健康診査、健康教育、家庭訪問を実施。	40,526 (4.5人)	41,426 (4.5人)	38,349 (4.5人)
			72,926	73,826	70,749
重点	幼稚園入所運営事業 【子ども課】	市内5か所の私立幼稚園及び市外3か所の私立幼稚園(岩見沢市の児童)に係る幼稚園入所運営費の負担。在園児のための幼稚園終了後の預かり保育の実施。	356,050 (0.0人)	498,468 (0.0人)	496,287 (0.0人)
			356,050	498,468	496,287

事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			H30実績	R1実績	R2実績
	幼稚園就園奨励事業 【子ども課】	幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者に対して入園料及び保育料を減免する設置者に対し補助をする。	23,103 (0.0人) 23,103	739 (0.0人) 739	/
重点	青少年対策事業 【子ども課】	青少年センターが中心となり、街頭補導活動や環境浄化モニターによる巡回活動を行い、子どもの健全育成と非行防止を図る。	6,109 (0.0人) 6,109	5,905 (1.0人) 13,105	5,376 (0.0人) 5,376
重点	青少年育成事業 【子ども課】	青少年が健全な思考や判断力を持ち、将来自らの意思で自立し、社会参加していくことができるよう各種事業を通じて健全育成を図る。	4,104 (1.0人) 11,304	4,389 (1.0人) 11,589	2,839 (1.0人) 9,839
重点	留守家庭児童対策事業 【子ども課】	児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。	131,311 (1.0人) 138,511	131,592 (1.0人) 138,792	119,934 (1.0人) 126,934
重点	ブックスタート事業 【図書館】	全ての赤ちゃんへ絵本等のブックスタートパックを贈るほか、読み聞かせや絵本の紹介などのフォローアップ事業を行い、乳幼児と保護者の情操を育む。	1,699 (1.0人) 8,899	1,762 (1.0人) 8,962	1,486 (1.0人) 8,686

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果	
基本施策	2	学校教育の充実 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。		
担当課	学校教育課、指導室、学校給食課、教育施設課、緑陵高等学校			

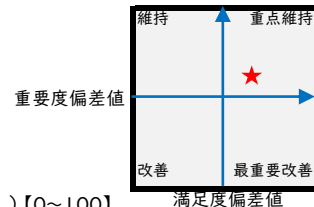
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	20.4			10位/32施策
重要度	0.527			6位/32施策

改善度
4.68
(10位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
全国学力・学習状況調査の平均正答率(小・中学校別)	※1 (H29)	↗	全国学力・学習状況調査の平均正答率	※4	※6	※8★ 中止		-
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価(小・中学校別)	※2 (H29)	↗	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価のC以上の割合	※5	※7	※9★ 中止		-
不登校の児童生徒の割合(小・中学校別)	※3 (H28)	↘	在籍児童生徒のうち、明確な理由がなく年間30日以上欠席した児童生徒の割合	小 0.6% 中 2.9%	小 0.7% 中 4.2%	小 1.0% 中 4.4%		C
※1:小～国語 A75%B56%・算数 A79%B46%、 ※1:中～国語 A77%B72%・数学 A67%B49% ※2:小(男 67.8%・女 70.3%)、中(男 56.3%・女 70.4%) ※3:小 0.3% 中 2.5% ※4:小～国語 A73%B55%・算数 A66%B52% ※4:中～国語 A77%B63%・数学 A66%B47% ※5:小(男 71.7%・女 78.2%) 中(男 66.5%・女 79.5%)				※★印は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとなっています。 ※6:小～国語 65%・算数 65% ※6:中～国語 75%・数学 60% ※7:小(男 70.7%・女 78.4%)、中(男 59.0%・女 73.1%) ※8:新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止(全国) ※9:新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止(全国)				
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価	2.0	B		

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査による重要度は非常に高く、施策に対する関心も高くなっているが、満足度の順位は低い傾向にある。</li> <li>・学力、体力の向上については、R2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止になったことから、経年での変化を見取ることができない状況である。</li> <li>・不登校の児童生徒の割合は、年々増加傾向にあり、喫緊の課題である。学校に行けない理由が子どもにより異なることから、それぞれの子どもの寄り添った丁寧な対応が必要である。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力については、「教えて考えさせる」授業スタイルの手引きを全校配布し、それに基づいた授業実践をすべての学校で実践している。授業の質的転換が図られている学校がほとんどである。前年度の学力の定着を図る標準学力テストNRT(3～4月実施、民間学力調査、全国平均50)では小学校国語49.7算数49.1、中学校国語50.2数学50.1と中学校では全国平均とほぼ同様の結果が出ている。</li> <li>・体力については、教育研究所による分析、考察を経て、各校の体育の授業の改善に努めている。また、自己の昨年の記録や北海道の記録等を超えられるように、指導室発行の体力カードを全児童生徒に配付し、目標を持たせ、体力テストに取り組みさせているが、成果までは及んでいない。</li> <li>・登校支援室による通室児童生徒への支援の結果、学校復帰率は41%と増加傾向となった。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	<b>【内部評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力については、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底をしたうえで、学校間格差、教師間格差をなくすため、「教えて考えさせる」授業スタイルを基盤とした「子どもと創る授業」づくりにより、主体的・対話的な深い学びの実現＝学力向上を目指していく。</li> <li>・体力については、新型コロナウイルス感染拡大防止との両立をしながらはなるが、体育の授業のカリキュラム・マネジメントを実施していく。</li> <li>・不登校対策として、Webex MeetingsなどのICTを活用し、不登校の児童生徒が学校の授業を自宅や学校の別室、登校支援室で視聴できる体制の構築を目指し、実証研究を進めている。また、登校支援室が積極的に保護者に働きかけられることができるよう、不登校の児童生徒を抱える保護者の組織化に取り組んでいく。</li> </ul>
-----------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	市内小中学校における児童見守りシステムの利用率 98% 小学校児童へのICタグ配布数3,423個/児童数3,483名 (R2)	A	A	A
学び・心はぐくむ学校活動支援事業 【指導室】	市内小中学校が企画・立案した事業に対し補助金を交付 ・教職員の資質や指導能力の向上のための講師招聘等:16件(328万円) ・外部人材を活用した授業支援や放課後学習:23件(84万円) ・技術支援を必要とする事業の実施(ボランティア費用):53件(150万円) 各小中学校へ授業支援等の地域ボランティア派遣 延べ5,571名	B	A	B
特別支援教育推進事業 【指導室】	市内小中学校に25名の特別支援教育支援員、1名の学校看護師を配置	B	A	B
教育指導振興事業 【指導室】	・市内小中学校における管理職、ミドルリーダー、若手教員を対象とした研修の開催 9回 ・学校教育指導員によるピア・サポートの授業・研修会の実施 27回 ・市内道德教育の推進に資する研究授業等の開催 中学校11回、小学校25回	B	A	B
コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	・令和2年度までに2中学校区に学校運営協議会設置 日の出・明成学校運営協議会 榎野 隆次会長ほか14名 (R2) 栗沢中学校区学校運営協議会 武田 豊会長ほか13名 (R2)	B	B	B
外国語指導助手活用事業 【指導室】	市内小中学校及び緑陵高校にALT9名配置	B	B	B
教育支援センター事業 【指導室】	・教育支援センターへの相談件数 904件 ・登校支援室来室者29名に支援し、12名復帰(復帰率41%)	B	A	B
学力向上対策事業 【指導室】	・土曜学習会 市内中学生137名参加 ・土曜キッズ英会話 新型コロナウイルス拡大防止のため全日程中止 ・英検学習会 3級対策12名(合格率87.5%)、4級対策15名(合格率80%)参加	C	B	C
教育研究所運営事業 【指導室】	施設利用者数 4,533名 教育課題の解明並びに教職員の資質向上のための講座開催 (ICT活用研修講座他) 3回	B	B	C
<b>●重点事業の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点</b> 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 A 非常に有効 B 有効 C やや有効でない D 有効でない 【効率性】 A 改善の余地なし B 概ね効率が良い C 改善の余地あり D 大きく改善の余地あり		事業評価	3.1	B

## 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
教育委員会運営事業 【学校教育課】	・教育委員会を開催し、教育行政方針の設定や重要案件の審議を行う。 ・教育委員会委員、教育長を対象とする各種会議に参加することにより、 情報等を収集し、広域的な教育行政の推進を図る。	4,133 (2.0人)	4,323 (2.0人)	3,893 (2.0人)
		18,533	18,723	18,293
教育委員会事務局管理事業 【学校教育課】	・教育委員会事務局の管理運営及び教育振興功労並びに教育実践奨励賞及び教育実践児童生徒優秀賞の表彰を行う。 ・PTA連合会事務局や岩見沢育英会など教育関係団体への補助を実施	7,716 (3.0人)	7,690 (3.0人)	7,153 (3.0人)
		29,316	29,290	28,753

事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			H30実績	R1実績	R2実績
重点	教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	高度情報通信ネットワーク社会に適応できる人材の育成を図るとともに、多様で高度な市民ニーズに応えるため、ICTを活用した教育の情報化を推進する。	/	/	19,613 (1.6人)
					31,133
	教職員住宅管理事業 【教育施設課】	教職員住宅の維持管理。適時に修繕・補修を行い、教職員へ良質な住環境を提供することにより、教育の充実を図る。	6,024 (0.8人)	5,862 (0.7人)	17,328 (1.5人)
			11,784	10,902	28,128
重点	学び・心はぐくむ学校活動支援事業 【指導室】	子どもが輝く岩見沢の教育づくりを推進するため、学力向上に関する取り組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。	14,652 (0.3人)	14,524 (0.3人)	11,068 (0.3人)
			16,812	16,684	13,228
重点	特別支援教育推進事業 【指導室】	心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。	37,401 (2.9人)	38,482 (2.9人)	45,892 (2.9人)
			58,281	59,362	66,772
	特別支援教育振興事業 【学校教育課】	障がいを持つ子供達にそれぞれの障がいに応じた教育環境を整備するとともに、学用品費等の支援を行い、特別支援教育の普及奨励を図る。	13,089 (0.2人)	13,330 (0.2人)	13,598 (0.2人)
			14,529	14,770	15,038
重点	教育指導振興事業 【指導室】	新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確実な定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を推進する。	6,721 (1.0人)	6,815 (1.0人)	6,404 (1.2人)
			13,921	14,015	15,044
重点	コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	市内中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入促進を図る。	/	/	706 (0.1人)
					1,426
重点	外国語指導助手活用事業 【指導室】	英語を使える児童生徒の育成を目指し、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、外国語教育及び国際理解教育の充実を図る。	36,079 (0.6人)	35,451 (0.6人)	35,803 (0.6人)
			40,399	39,771	40,123
重点	教育支援センター事業 【指導室】	教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、スーパーバイザー、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。	20,973 (0.6人)	18,705 (0.6人)	17,799 (0.6人)
			25,293	23,025	22,119
重点	学力向上対策事業 【指導室】	子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、土曜学習会、囲碁授業、土曜キッズ英会話、英検学習会を実施する。	2,888 (0.1人)	3,296 (0.1人)	3,221 (0.1人)
			3,608	4,016	3,941
重点	教育研究所運営事業 【指導室】	岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努める。 また、市民開放、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。	21,504 (0.4人)	15,634 (0.4人)	16,147 (0.8人)
			24,384	18,514	21,907
	小学校管理事業 【学校教育課】	児童が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることが出来る教育環境づくりを推進する。	253,911 (5.2人)	238,749 (5.2人)	279,955 (5.2人)
			291,351	276,189	317,395
	小学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	44,982 (0.5人)	45,796 (0.5人)	44,910 (0.5人)
			48,582	49,396	48,510
	スクールバス運行管理事業 【学校教育課】	遠距離通学となる児童生徒の通学支援及び登下校の安全確保のためのスクールバスの運行を行なう。	79,435 (0.3人)	89,927 (0.3人)	104,866 (0.3人)
			81,595	92,087	107,026



事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
小学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、小学校における義務教育の円滑な実施に資する。	18,075 (0.7人) 23,115	17,824 (0.7人) 22,864	16,921 (0.7人) 21,961
児童健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、児童の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	19,419 (0.5人) 23,019	18,671 (0.5人) 22,271	18,041 (0.5人) 21,641
小学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	3,748 (0.2人) 5,188	3,559 (0.2人) 4,999	3,404 (0.2人) 4,844
小学校校舎等管理事業 【教育施設課】	小学校の施設整備、維持管理、補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実に努める。	55,207 (1.9人) 68,887	55,845 (1.6人) 67,365	82,118 (1.0人) 89,318
学校プール管理事業 【教育施設課】	学校プールの開設。衛生的かつ安全性を重視し管理運営を行う。施設整備の維持管理補修を実施し、施設の安全確保に万全を図る。	6,925 (0.9人) 13,405	4,924 (0.8人) 10,684	20 (0.8人) 5,780
中学校管理事業 【学校教育課】	生徒が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることが出来る教育環境づくりを推進する。	189,302 (4.0人) 218,102	185,846 (4.0人) 214,646	182,198 (4.0人) 210,998
中学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	27,401 (0.0人) 27,401	30,879 (0.0人) 30,879	33,314 (0.0人) 33,314
中学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、中学校における義務教育の円滑な実施に資する。	25,079 (0.7人) 30,119	23,865 (0.7人) 28,905	19,789 (0.7人) 24,829
生徒健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、生徒の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	10,916 (0.5人) 14,516	10,067 (0.5人) 13,667	10,239 (0.5人) 13,839
中学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	2,307 (0.2人) 3,747	2,393 (0.2人) 3,833	2,176 (0.2人) 3,616
中学校校舎等管理事業 【教育施設課】	中学校の施設設備の維持管理。補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実に努める。	34,422 (2.5人) 52,422	44,711 (1.5人) 55,511	42,757 (1.9人) 56,437
学校給食共同調理所運営事業 【学校給食課】	衛生管理の徹底などにより安全・安心な給食を市内小・中学校23校に年間190回を基準として提供するとともに、児童生徒に対する食指導を実施。	600,605 (4.6人) 633,725	569,665 (4.6人) 602,785	591,181 (4.8人) 625,741
学校給食共同調理所整備事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所の整備に伴い廃止した旧学校給食岩見沢・栗沢共同調理所の解体工事を実施	14,769 (0.2人) 16,209	101,563 (0.2人) 103,003	
学校給食共同調理所車両運行管理事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所から市内小・中学校23校に給食を配送する配送車の運行管理を行う。	36,342 (0.2人) 37,782	37,070 (0.2人) 38,510	37,250 (0.2人) 38,690

**事務事業一覧**

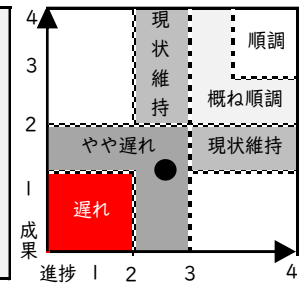
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
特別会計高等学校費 【緑陵高等学校】	地域社会のニーズに応えるとともに、次代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備に努めるとともに、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図ります。 また、質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具の整備を図る。	92,780 (51.0人)	93,636 (51.0人)	116,546 (50.0人)
		580,966	574,985	585,458

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果
基本施策	3	生涯学習の振興と社会教育の充実 市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。	
担当課	生涯学習・文化・スポーツ振興課、教育施設課、図書館		



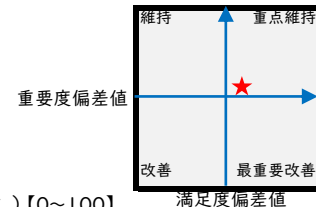
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	17.7			13位/32施策
重要度	0.482			13位/32施策

改善度
1.94
(14位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2018年調査：-22.88～20.26】

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
市民大学及び高齢者講座の参加者数	270人 (H28)	↗	市民大学及び高齢者講座を受講した人の実数の合計	249人	261人	38人★		D
生涯学習センター「いわなび」利用者数	128,144人 (H28)	↗	生涯学習センター「いわなび」を利用した人の合計	117,457人	112,099人	55,126人★		D
市民1人当たりの図書貸出冊数	4.78冊 (H28)	↗	本館等の4図書施設における市民1人当たりの年間貸出冊数	4.92冊	4.82冊	3.97冊★		D
●成果指標の評価を4区分で評価（平均点）A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		1.0		D

※★印は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとなっています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生涯学習センターの臨時休館（57日間）、事業の中止や施設利用者の活動自粛など、昨年実績を大きく下回ることとなった。</li> <li>・緊急事態宣言発令による臨時休館や制限付開館の影響もあり、前年度並みの貸出冊数には至らなかったが、感染対策を講じた中でのイベント実施や館内滞在が短い時間でも貸出が出来るような工夫を行い、利用者サービスに努めた。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわみざわ市民大学では、一つのテーマで座学と体験の両方を受講できるプログラムを取り入れるなど魅力ある講義を目指し準備を進めていましたが全講義を中止。そこで、市民の学習意欲に応えるため、特別公開講座を2回計画、今後を見据えた新しい取組みとして、オンラインによる受講を試験的に実施しました。①11月25日 受講者38人（内3人がオンライン受講）②2月24日 申込者35人（内5人がオンライン受講）※2回目は悪天候のため中止。</li> <li>・図書館では、市民の多様なニーズに基づき計画的な蔵書整備を行うとともに、司書職員の専門性向上と地域サービス拠点の充実のほか、SNSなどの情報提供により利便性の向上を図った。また、ボランティアや市民団体、関係機関と連携し読書活動の促進や学習支援を図るなど、様々な取り組みを行ったが、緊急事態宣言発令による臨時休館や制限付開館の影響もあり、貸出冊数の維持が叶わなかった。</li> </ul>
-------	--

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわみざわ市民大学では、オンライン受講者から資料配付のタイミング、カメラ位置の工夫などの意見を頂きました。感染防止対策を徹底し、場所を選ばず学習できる「いわみざわ市民大学」を目指すとともに座学・体験を両方受講できる魅力ある講義を実施する。</li> <li>・高齢者対象講座、受講者の生きがい、仲間づくりの機会の場でもあるため、今後も感染防止対策を徹底するほか、事業内容を精査し継続実施する。</li> <li>・コロナ禍にあっても興味・関心、社会・時代の変化に対応した生涯学習の提供と学ぶ機会の維持向上、参加者同士の交流など、幅広い世代が生涯に渡って学び、自由かつ自主的な活動ができるよう取組みを進める。</li> <li>・多様化する市民ニーズを踏まえ、利便性向上の取り組みを継続し、貸出冊数を維持する。</li> </ul>
-----------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
市民の学び支援事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	生涯学習センターを拠点に子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の充実、参加者同士の交流、仲間づくりなど学びながらコミュニティの推進を図ることを目的に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高齢者対象講座を中止。みんなで教育を考える日を中止。いわみざわチャレンジスクールについては、9月から事業を再開し(8事業、参加者121人)実施。いわみざわ市民大学については、特別公開講座を2回計画し今後を見据え、オンラインによる受講を試験的に実施。1回目(受講者38人、内3人オンライン受講)2回目悪天候のため中止(申込者35人、内5人オンライン受講)	C	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価 2.7 C		

## 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
社会教育委員活動事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	岩見沢市社会教育委員の会議は、本市の社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるため、岩見沢市社会教育委員条例の規定に基づき設置されている。委員の定数は15名で、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。任期は令和4年3月31日までの2年間で、現委員は15名(うち2名は市民公募)。	601 (0.7人) 5,641	671 (0.7人) 5,711	529 (0.7人) 5,569
重点 市民の学び支援事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	生涯学習センター「いわなび」を拠点として、生涯学習の情報発信、相談体制、指導者育成の強化に努める他、いわみざわ市民大学やいわみざわチャレンジ・スクールなど、子どもから高齢者までの、全世代に向けた事業展開を図り、市民の生涯学習推進に向けた学習活動への支援を行います。上記事業のほか、趣味、教養、娯楽、健康等、気軽に参加できる教室や講座を実施し継続的に利用できる施設としての理解と、生涯学習活動への基礎づくりとなる事業として実施いたします。	8,245 (3.0人) 29,845	8,556 (3.0人) 30,156	3,141 (0.0人) 3,141
社会教育施設整備事業 【教育施設課】	社会教育施設整備事業～社会教育施設の利活用を検証し、施設規模や利用形態から適切な施設運営と利用者負担を検討する。 指定管理者制度導入事業～市民ニーズの効率的、効果的な対応と行政コストの縮減のため、施設の管理・運営の形態として指定管理者制度の導入の適否を検討する。	379 (1.5人) 11,179	176 (1.2人) 8,816	261 (2.0人) 14,661
北村環境改善センター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	住民のコミュニティ活動を推進し、地域住民の文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図るため、改善センターを設置し維持管理を行う。	16,411 (0.0人) 16,411	14,105 (0.0人) 14,105	14,468 (0.0人) 14,468
北村学習交流館運営事業 【図書館】	地域住民の学習活動を支援する拠点施設として、図書資料を提供し学習活動及び読書活動を支援する。	2,104 (0.0人) 2,104	2,090 (0.0人) 2,090	1,925 (0.0人) 1,925
北村ふるさと学習館運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の社会教育活動及び地域文化の振興を図るため、岩見沢市北村ふるさと学習館を設置し、維持管理を行う。	769 (0.2人) 2,209	2,045 (0.2人) 3,485	2,023 (0.2人) 3,463
郷土科学館管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	教育、科学及び文化の発展に寄与する施設として、郷土資料の収集・展示やプラネタリウムの番組提供と科学等に関する事業を通し、郷土理解や青少年の科学する心を育むとともに、関係機関と連携したパネル展など、社会的ニーズを把握しながら生涯学習の機会を提供する。	21,454 (1.7人) 33,694	20,971 (1.7人) 33,211	20,965 (0.7人) 25,865
自然体験宿泊学習館運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	青少年の健全育成及び社会教育活動の振興に寄与するとともに、文化・スポーツ活動や総合的な宿泊を伴う研修利用のため、自然体験宿泊学習館を設置する。	8,480 (0.3人) 10,640	7,079 (0.3人) 9,239	4,614 (0.3人) 6,774
来夢21施設管理事業 【図書館】	図書館、資料館、こども館からなる複合施設の管理を行うことにより、地域住民の文化振興と子どもの健全育成及び学習活動を支援する。	9,278 (0.0人) 9,278	8,932 (0.0人) 8,932	9,511 (0.0人) 9,511

**事務事業一覧**

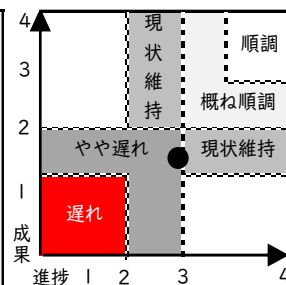
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
生涯学習センター管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	子どもから高齢者まで、市民の生涯にわたる学習を支援する場として、施設を維持管理する。	87,376 (0.2人)	88,426 (0.2人)	87,756 (0.2人)
		88,816	89,866	89,196
図書館活動運営事業 【図書館】	市内4館の図書資料の収集・管理と利便性の高いサービスの提供に努め、子どもの読書活動の推進と幅広い世代に対応した読書普及活動を実施するとともに、市立図書館の計画的な整備を図る。	87,738 (6.0人)	90,813 (6.0人)	90,102 (6.0人)
		130,938	134,013	133,302

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果
基本施策	4	芸術文化・スポーツの振興	
	市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。 また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。 さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。		
担当課	企画室、生涯学習・文化・スポーツ振興課、教育施設課		



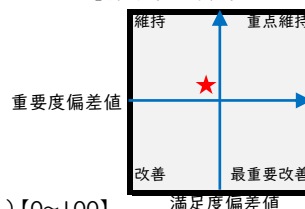
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	21.6			9位/32施策
重要度	0.451			19位/32施策

改善度
-4.33
(25位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2018年調査：-22.88～20.26】

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
「市民の文化祭」の参加者数	9,175人 (H28)	↗	市民の文化祭」に出品・出演した人及び来場した人の合計	8,008人	8,045人	1,532人★		D
資料館及び指定文化財の利用者数	6,239人 (H28)	↗	資料館及び指定文化財を見学及び利用した人の合計	5,296人	8,834人	3,330人★		D
「スポーツの日」記念岩見沢市総合体育大会の参加者数	2,692人 (H28)	↗	総合体育大会で各競技に参加した人の合計	3,014人	2,843人	1,813人★		C
教育大との連携事業数	新規	↗	北海道教育大学岩見沢校と市との連携事業数	17	18	10★		C
●成果指標の評価を4区分で評価（平均点）A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		1.5		C

※★印は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとなっています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年に比べ、市民の文化祭及びスポーツの日記念岩見沢市総合体育大会の参加者数・資料館及び指定文化財の利用者数が減少している。</li> <li>・教育大との連携事業については、H30実施事業から継続して実施されている事業がほとんどであり、教育大との連携した取組みが定着しているが、コロナの影響により、スポーツ教室関連の事業が中止となった。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても舞台、音楽、伝統文化などの出来る限り幅広いジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図ることができた。</li> <li>・規模の縮小や事業の中止はあったが市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、「市民歩け歩け大会」「歩くスキーの集い」等を実施するとともに、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」を行った。また、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピックス・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動の支援を行った。</li> <li>・教育大との連携事業については、H30から実施されている継続事業をベースに取り組みしており、市内においても教育大の特色を活かした連携事業について検討してもらえる機会が増えた。また、教育大生の作品発表等の場の確保や地域との交流促進を目的として、大学内の倉庫をリメイクした「森の岩ギャラリー」の整備に係る支援を行った。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、市民の生活に潤いをもたらすものであり、優れた芸術文化に触れる機会の提供や情報発信、市民が気軽に活動できるような環境整備などを引き続き行う必要がある。</li> <li>・スポーツは、体力の向上や健康の保持増進だけでなく、爽快感や達成感といった精神的充足や人となりのつながりなど、心身両面に豊かさをもたらすものであり、年齢や運動能力等を問わず、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりが必要である。</li> </ul>
-----------	--

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価																	
		達成度	有効性	効率性															
教育大学連携事業 【企画室】	(企画推進事業のうち北海道教育大学との連携事業「i-BOX」) 北海道教育大学岩見沢校と連携して、複合駅舎内に市民と学生の活動情報拠点「i-BOX」を設置し、i-BOX及びi-BOX以外での学生や教員による美術展等を開催するとともに、情報発信、「森の岩ギャラリー」の整備支援を行った。 令和2年度 企画展19回 来場者1,707人 (令和元年度 企画展23回 来場者数4,903人)	B	B	B															
文化のまちづくり事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	・アマチュアバンドの祭典「サウンドエアー」、札幌交響楽団による「まなみーるDEクラシック」など、様々なジャンルの音楽公演など、全部で6事業を実施(新型コロナウイルス感染症の影響により4事業が中止)し、5,200人あまりの集客があった。 ・また、令和元年度より、文学の普及発展を図ることを目的として、氷室冴子青春文学賞実施に対する補助金交付の支援を行っている。	B	B	B															
健康・スポーツ振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	・市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、「市民歩け歩け大会」等を実施するとともに、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」を行った。 (歩け歩け大会:参加者38人、キッズスポーツ:申込者151人) ・各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動の支援を行った(個人19人)。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ウォーキングマラソン大会が中止となった。	B	B	B															
オリンピック・パラリンピック推進事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	新型コロナウイルス感染症の影響により、オリンピック・パラリンピックの合宿及びアダプテッド・スポーツの体験イベントが中止となった。	-	-	-															
<b>●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点</b> <table border="0"> <tr> <td>【達成度】</td> <td>【有効性】</td> <td>【効率性】</td> </tr> <tr> <td>A 十分である</td> <td>非常に有効</td> <td>改善の余地なし</td> </tr> <tr> <td>B 概ね十分である</td> <td>有効</td> <td>概ね効率が良い</td> </tr> <tr> <td>C やや不十分である</td> <td>やや有効でない</td> <td>改善の余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 不十分である</td> <td>有効でない</td> <td>大きく改善の余地あり</td> </tr> </table>		【達成度】	【有効性】	【効率性】	A 十分である	非常に有効	改善の余地なし	B 概ね十分である	有効	概ね効率が良い	C やや不十分である	やや有効でない	改善の余地あり	D 不十分である	有効でない	大きく改善の余地あり	事業評価	3.0	B
【達成度】	【有効性】	【効率性】																	
A 十分である	非常に有効	改善の余地なし																	
B 概ね十分である	有効	概ね効率が良い																	
C やや不十分である	やや有効でない	改善の余地あり																	
D 不十分である	有効でない	大きく改善の余地あり																	

## 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 教育大学連携事業 【企画室】	(企画推進事業のうち教育大学分) i-BOXの運営など、地域に開かれた大学を実現するとともに、市民と学生の交流活動を促進する。	3,000 (0.0人)	2,448 (0.5人)	3,860 (0.5人)
		3,000	6,048	7,460
絵画ホール運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	岩見沢市における美術の振興を図るため、収蔵している松島正幸氏の絵画の常設展示をするとともに、岩見沢市にゆかりのある美術家の作品の収集・保管・展示さらに教育普及活動や企画展示等を行い、将来を見通した特色ある運営に努める。	7,881 (0.0人)	7,883 (0.0人)	8,217 (0.0人)
		7,881	7,883	8,217
栗沢工芸館管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	美流渡地区の自然豊かな環境の中に設置された工芸館でのギャラリーでの工芸作品常設展示、陶芸・工芸教室等の講座を開設し、工芸品の創作活動を通して市民の芸術に対する理解を深め、生活文化の向上と地域づくりに努める。	2,517 (0.2人)	2,470 (0.2人)	2,664 (0.2人)
		3,957	3,910	4,104
市民会館文化センター管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の文化教養の向上と、市民福祉の増進や教育の振興を図る目的のため、生涯学習活動に対する多様なニーズに対応した活動の場を提供する。	100,417 (0.0人)	96,015 (0.0人)	120,610 (0.9人)
		100,417	96,015	127,090
栗沢文化センター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	文化活動を促進、支援する場として、施設を維持・管理する。	17,886 (0.0人)	21,169 (0.0人)	13,037 (0.0人)
		17,886	21,169	13,037
野外音楽堂管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	薫り高い芸術・文化を創造・発信し、市民が芸術文化を享受する地域文化を推進するため、野外音楽堂の施設環境の充実を図り、来場者が快適な環境で芸術文化を享受できるように管理運営を行う。	20,075 (0.0人)	20,150 (0.0人)	20,227 (0.0人)
		20,075	20,150	20,227

事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
地域文化振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	個性豊かな市民文化の創造に向けて、自主的な文化活動が多彩に繰り広げられ、身近に芸術・文化にふれあう機会を拡大するとともに、歴史や地域性を生かしたまちづくりを進め、うるおいやすらぎのある文化性の高いまちの環境づくりを推進する。	6,700 (1.0人) 13,900	6,436 (1.0人) 13,636	3,627 (1.0人) 10,827
重点 文化のまちづくり事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	野外音楽堂や市民会館・文化センターなどを拠点に、舞台、音楽、伝統文化などの多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図る。	12,000 (0.5人) 15,600	11,579 (0.5人) 15,179	8,297 (0.5人) 11,897
文化財・文化遺産保存管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	文化財は、地域の歴史や文化等を正しく理解する上で欠くことのできないものであり、文化の向上発展のため、適切な保存を行う。	3,641 (0.5人) 7,241	3,504 (0.5人) 7,104	3,974 (0.5人) 7,574
重点 健康・スポーツ振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るとともに、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。	14,183 (1.0人) 21,383	10,641 (1.0人) 17,841	7,634 (1.0人) 14,834
重点 オリンピック・パラリンピック推進事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、北海道教育大学岩見沢校と連携し、パラリンピック競技の合宿誘致や合宿受け入れに取り組むとともに、障がい者スポーツに対する市民の理解と関心を高め、誰もが適性に応じてスポーツを楽しめるまちづくりを進め、地域スポーツの振興を図る。	2,927 (1.0人) 10,127	5,102 (1.0人) 12,302	72 (1.0人) 7,272
体育施設管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の健康、体力づくりの普及振興を図るため施設の維持管理を行う。	3,972 (0.5人) 7,572	2,301 (0.5人) 5,901	2,456 (0.5人) 6,056
スポーツセンター・岩見沢トレーニングセンター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、スポーツセンターの維持管理を行う。 ・市民の基礎体力向上と健康増進を図るための施設であるトレーニングセンターの維持管理を行う。	41,563 (0.0人) 41,563	46,373 (0.0人) 46,373	48,446 (0.0人) 48,446
東山・岡山地区スポーツ施設運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、東山・岡山地区スポーツ施設の維持管理を行う。	41,044 (0.0人) 41,044	41,867 (0.0人) 41,867	35,298 (0.0人) 35,298
鉄北地区スポーツ施設運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、総合体育館の維持管理を行う。	37,796 (0.0人) 37,796	39,670 (0.0人) 39,670	46,903 (0.0人) 46,903
温水プール・北村プール運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	年間を通じて利用可能な温水プールを管理運営する。手軽なスポーツである水泳を通じ市民の健康づくりを支援する環境を提供する。	39,459 (0.0人) 39,459	40,729 (0.0人) 40,729	38,760 (0.0人) 38,760
北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	19,194 (0.0人) 19,194	19,414 (0.0人) 19,414	71,815 (0.9人) 78,295
北村トレーニングセンター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の健康づくり及び協議スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	10,125 (0.0人) 10,125	11,521 (0.0人) 11,521	10,417 (0.0人) 10,417
栗沢スポーツ公園運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の心身の健全な発達及び体育の普及・振興を図り、快適なスポーツ環境を提供する。	28,563 (0.0人) 28,563	28,361 (0.0人) 28,361	27,889 (0.0人) 27,889

【外部評価意見】	
----------	--